

伝統木工技術でお客様の要望以上の「ものづくり」を三隅から世界へ！


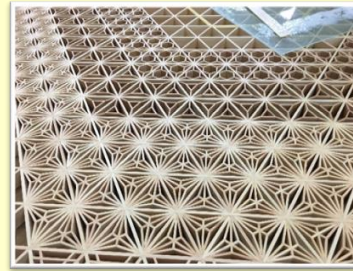
有限会社 吉原木工所／石中央商工会

■業種 製造業（収納家具・木製建具・組子）

■住所 島根県浜田市三隅町室谷912-1

■電話番号 (0855) 34-0227

■営業時間 9：00～17：00（定休日：土・日・祝）

■ホームページ 「吉原木工所」で検索 <http://yoshiharawoodworks.com>

私は

『 小規模事業者持続化補助金 』

を活用しました！

日本の棚田百選にも選ばれた三隅町の室谷を上がっていくと、のどかな田園風景とともに昔ながらでどこか懐かしいような木工所が姿を現します。建具屋として昭和33年11月に現代表の父が創業。時代の流れで地元の建具屋が姿を消していく中、先代に憧れて高校卒業後に北陸で見習いとして修業をしていた次男の吉原敬司さん(現：専務取締役)が帰郷したのち、障子や襖などに用いられる伝統技術の「組子」を仕事の傍ら、一人で作り始めました。その後は、販路拡大にも注力し、洗練された技術は「リビング障子」としてグッドデザイン賞を受賞。今では組子を一事業にまで成長させた、吉原敬司さんに取材をしてきました！

取り組みのきっかけはなんですか？

吉原木工所や商品の宣伝等を目的に以前から、情報発信として個人でブログを書いたりしていました。その中で、実際の組子の製作風景も国内外のお客様に見てもらえたらなと思っていました。しかし、自分一人ではできることには限界があり、そこで商工会に相談しました。

商工会からどのような支援を受けられましたか？

経営指導員の方と一緒にまずは、私の頭の中に浮かんでいるアイデアなどを文字へと起こす作業から始めました。その中でこの補助金を活用して、国内・国外へ向けた、組子等の製作風景を交えたプロモーション動画を制作することとなり、動画の内容や活用方法を検討していきました。

取り組みの成果・効果を教えてください！

組子の製造工程だけではなく、職人や室谷という土地環境、納品事例も盛り込んだプロモーション動画を製作することができました。当社のホームページや展示会等でプロモーション動画を活用したPRを行い、海外からの注文も以前より増加しました。ものづくりにおいて「発信」はとても重要で、作ったものは発信していくべきだと感じています。その一環として今後は、「ショールーム」を増設し製作物を展示したり、そこでワークショップを開いたりしていけたらなと、構想を練っています！

* 田畑弘樹 (経営指導員) *

敬司さんは目標を持ちそれに邁進する、向上心に富んでおられます！自社のことだけではなく、年々規模が縮小している地元の祭事も危惧し、何か自分にできないかと、ご自身なりに考えておられます。その姿勢は指導員としても、見習うべき部分であると感じています。

* 専務取締役 吉原敬司さん *

経営指導員さんにとって最も大事なものは「人となり」だと思います。相手のためにどれだけ一生懸命に、どれだけ熱心になれるかで大きく変わってくると思います。田畑さんと出会ってからまだ短いですが、会員企業を思う「熱心さ」はとても伝わってきます！